

全国大会で西条パワーを全開だ!



「第7回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会」県選考会で見事優勝を果たした、西条ひまわりスポーツ少年団の皆さんが、全国大会への出場報告のため、市役所を訪れました。



また、「第6回Jヴィレッジなでしこカップ」県予選・四国予選でそれぞれ優勝し、2年連続の全国大会出場を決めた、西条中央スポーツクラブひうちドリームスの皆さんも、出場報告のために市役所を訪れました。

両チームの皆さんは、苦しい練習を通じてチームの結束力が高まってきたことや、全国大会に向けた意気込みなどを熱く語ってくれました。

男女共同参画は地域活性化から



東予北地域交流センターで開かれた「男女共同参画セミナー」では、中央大学法学部広岡守穂教授による「お互いを尊重しながら、地域で求められる役割を果たすことが、男女共同参画社会の実現につながる」とのお話に参加者の間には共感の輪が広がりました。

防災を切り口とした取り組みで、たくましさ和社会性を身につけたニューリーダーが誕生



防災をテーマとして社会に目を向け、各種の体験活動を通して防災に関する知識・技能を深め、より確かな社会性を身につけた西条市の将来を担う若者（リーダー）の育成を目的とする12歳教育推進事業。その集大成として子ども防災サミットが開催されました。1千人を超える小学生や関係者を前に、橘・吉岡・西条小学校の3校が学校や家庭での実践内容を発表し、また、パネルディスカッションでも活発な討議が繰り広げられ、改めて確かなものとした防災に対する強い思いをサミット宣言として採択しました。

薄紅に染められた市民の森は早春の香りにつつまれました



紅白の梅の花が見ごろとなった市民の森で、恒例行事としてすっかり定着した梅まつりが開催されました。当日はあいにくの曇り空でしたが、甘酸っぱい香りに誘われた来場者の皆さんは、20種類約1千本の梅の木がある梅林園を散策した後、お茶席でのお接待を楽しんだり、「梅」「水」「石鎧」を題材とした短歌・川柳・俳句を詠んだりしながら、時間がゆっくり流れる休日を過ごしました。市民の森では梅の花に続いて、桜・つつじと森一面が春色に染まる季節を迎えます。あなたも足を運んでみてはいかがでしょうか。



カブトガニとのふれあいを通じて...



1月20日、東予南幼稚園・保育所で「ふれあいカブトガニ教室」が開催されました。子どもたちは「生きている化石」と言われるカブトガニ（体長約60cm）に触れてみたり、着ぐるみのカブちゃんとの遊びを通じて、カブトガニが暮らすことのできる郷土の海を守り続けることの大切さを学びました。

大切な文化財を災害から守れ!



文化財防火デーの1月26日、国指定重要文化財等を有する保国寺（中野）で防災訓練が実施され、初期消火活動や放水訓練などが行われました。参加者は、地元の貴重な文化財を大切に守っていこうという気持ちを新たにしていました。